

業務説明資料

本業務における業務説明資料は次のとおりです。

1 業務概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 業 務 名 | 令和7年度 国県道整備単独事業 ETC2.0 プローブデータを活用した渋滞対策及び交通安全対策検討業務 |
| (2) 履 行 期 間 | 契約締結日の翌日から令和8年3月27日まで |
| (3) 履 行 場 所 | 浜松市管内一円 |
| (4) 契約上限金額 | 8, 0 0 0 千円（消費税及び地方消費税を含む。） |

2 業務内容

(1) 業務目的

本業務は、国土交通省による「ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査」の調査協力者として、別紙「参加申請書」の内容で浜松市が採択を受けたことを踏まえ、浜松市の課題である渋滞及び交通安全において、ETC2.0 プローブデータを有効活用し、課題を整理するとともに、効果的な対策を検討することを目的とする。

(2) 業務内容

本業務の内容は下記のとおりである。

1) 業務計画立案

2) ETC2.0 プローブデータを有効活用した渋滞対策の検討

浜松市の環状道路である「浜松環状道路」内の幹線道路を対象とし、ETC2.0 プローブデータ及びオープンデータ等を活用して、交通状況を整理する。

整理した交通状況をもとに、拠点間の移動時間の観点から、交差点改良やTDM施策といった中短期対策の有効性が高いと考えられる箇所・区間（路線）等を ETC2.0 プローブデータ及びオープンデータ等を活用し、抽出する。

特に有効性が高いと考えられる箇所等を代表事例とし、具体的な中短期対策を検討する。なお、代表事例とする箇所等については、委託者と協議し、決定する。

3) ETC2.0 プローブデータを有効活用した交通安全対策の検討

本市が公開している「危険予測箇所マップ」や本市指定の「交通事故多発交差点」、国土交通省指定の「事故危険箇所」等を参考に、市内において交通事故の危険性が高い箇所を整理するとともに、ETC2.0 プローブデータ及びオ

ーブンデータ等を活用し、道路利用者が注意すべきと考えられる状況（時間帯、手段など）を箇所ごとに整理する。

特に課題が大きい地区を代表事例とし、注意すべきと考えられる状況を市民が分かりやすい形で可視化する。なお、代表事例とする地区については、委託者と協議し、決定する。

(3) 成果品

本業務における成果品は、以下のとおりとする。

- ・業務報告書（A4用紙）、概要書（A3用紙） 1部
- ・業務報告書の電子データ（DVD-R等の電子媒体に記録） 1部

(4) 貸与資料

本業務を行うにあたり、以下の資料を貸与する。

- ・ETC2.0プローブデータ
地域：静岡県
期間：令和6年
様式：1-1、1-2、1-4、2-1～2-7（DRM単位又はセンサス単位）

(5) 担当部署及び問い合わせ先

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2
浜松市土木部道路企画課（浜松市役所本庁舎 4 階）
電話 053-457-2427 FAX 050-3737-0045
メールアドレス dourokikaku1@city.hamamatsu.shizuoka.jp

(単独申請用)

【様式 1】

浜土道企第 1 0 3 号

令和 7 年 8 月 2 6 日

国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 御中

浜松市土木部道路企画課
課長 加藤 貞仁
静岡県浜松市中央区元城町 103-2

ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査 参加申請書

「ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査」調査協力者の公募要領に
同意した上で、当該調査への参加を下記のとおり申し込みます。

記

1. 公募の名称

ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査 調査協力者の公募

2. 添付書類

- ・ 申請書 【様式 2】
- ・ 実施体制 【様式 3】
- ・ 参加要件②に示す「代表者となる地方公共団体がプローブデータを利活用した実績があること」を確認できる資料

3. 連絡先

担当者名 : 深谷 巡
所属・役職 : 浜松市土木部道路企画課 企画グループ 主任
住所 : 静岡県浜松市中央区元城町 103-2
電話番号 : 053-457-2427
E-mail : dourokikaku1@city.hamamatsu.shizuoka.jp

以上

【様式 2】

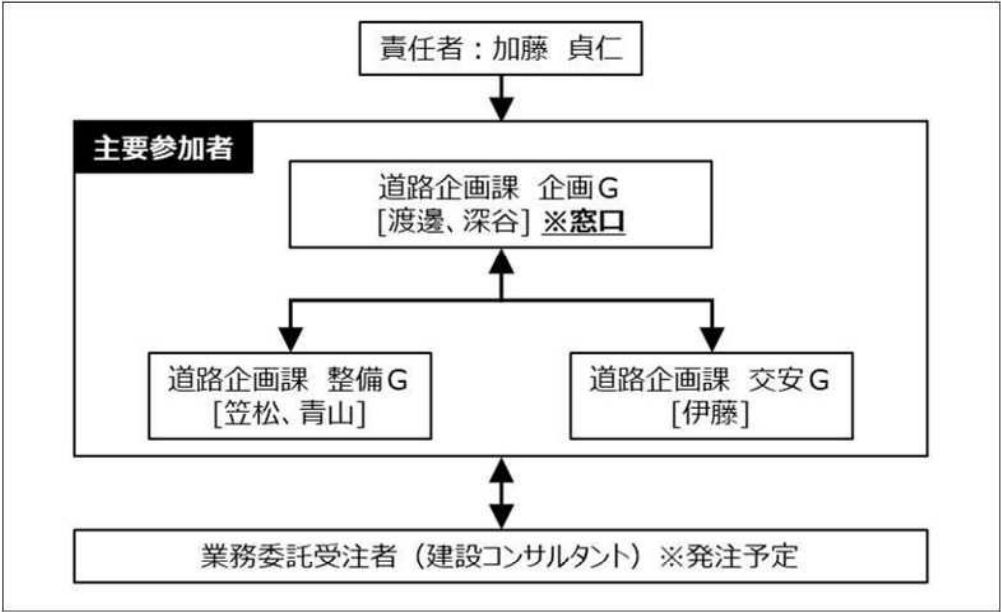
調査への参加申請書

ETC2.0 プローブデータの利活用目的	① 浜松市における渋滞状況（課題箇所）の把握及び対策検討のための旅行速度、交通流動等の把握 ② 浜松市における交通安全対策箇所（課題箇所）の抽出のための旅行速度や挙動等の把握 ※別紙参照
貸与を希望するプローブデータの時期・対象	浜松市における令和 6 年一年分のデータ
ETC2.0 プローブデータの利活用体制	【様式 3】 のとおり
ETC2.0 プローブデータ利活用のための予算・体制確保（見込）状況	地方公共団体の単費で約 10 百万円確保済み
プローブデータ利活用実績	① 令和 7 年 3 月に開通した国道 257 号金指西バイパスの効果確認のために、開通前後の旅行速度の分析結果の提供を受けた ② 浜松市庄内地区における浜名湖花博 2024 開催期間中の主要道路の路線別平均速度や経路分析等の分析結果の提供を受けた ③ 浜松市内におけるゾーン 30 プラスの検討を実施するにあたり、挙動や抜け道利用の分析結果の提供を受けた ※別紙参照
地方整備局等への事前相談	令和 7 年 6 月 20 日に中部地方整備局交通対策課に事前相談済
その他の留意事項	特になし

【様式 3】

本調査における実施体制

○ 体制



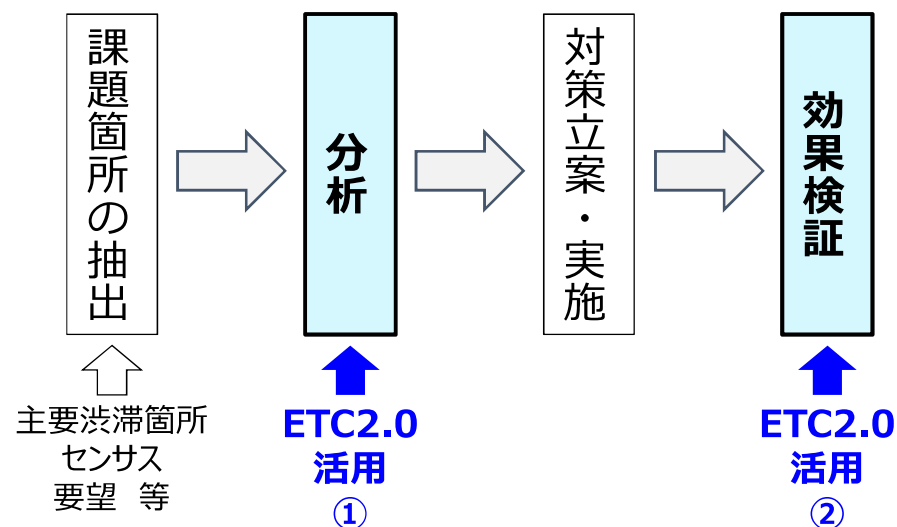
○ 責任者及び参加者

名前	組織・部署・役職	担当する業務内容
加藤 貞仁 (責任者)	浜松市 土木部 次長兼道路企画課長	土木部総括
渡邊 美里 (主要参加者)	浜松市 土木部 道路企画課 企画G 技監	各種事業調整 ※窓口
深谷 巡 (主要参加者)	浜松市 土木部 道路企画課 企画G 主任	各種事業調整 ※窓口
笠松 慶顕 (主要参加者)	浜松市 土木部 道路企画課 整備G 副技監	道路整備事業
青山 飛翔 (主要参加者)	浜松市 土木部 道路企画課 整備G 主任	道路整備事業
伊藤 一貴 (主要参加者)	浜松市 土木部 道路企画課 交通安全施設G 技監	交通安全対策事業

※ 主要参加者は、最大 5 名まで記載する。

① 渋滞対策

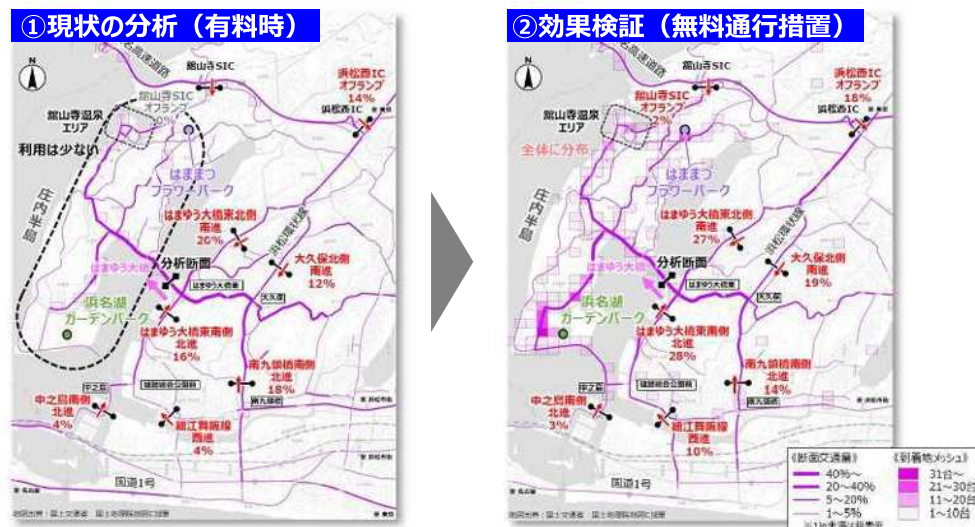
【これまで】



【事例】

①分析・②効果検証：経路分析

＜花博開催前（はまゆう大橋：有料）＞ ＜花博開催中（はまゆう大橋：無料）＞



②効果検証：交差点改良による速度向上



■ ETC2.0のこれまでの活用方法

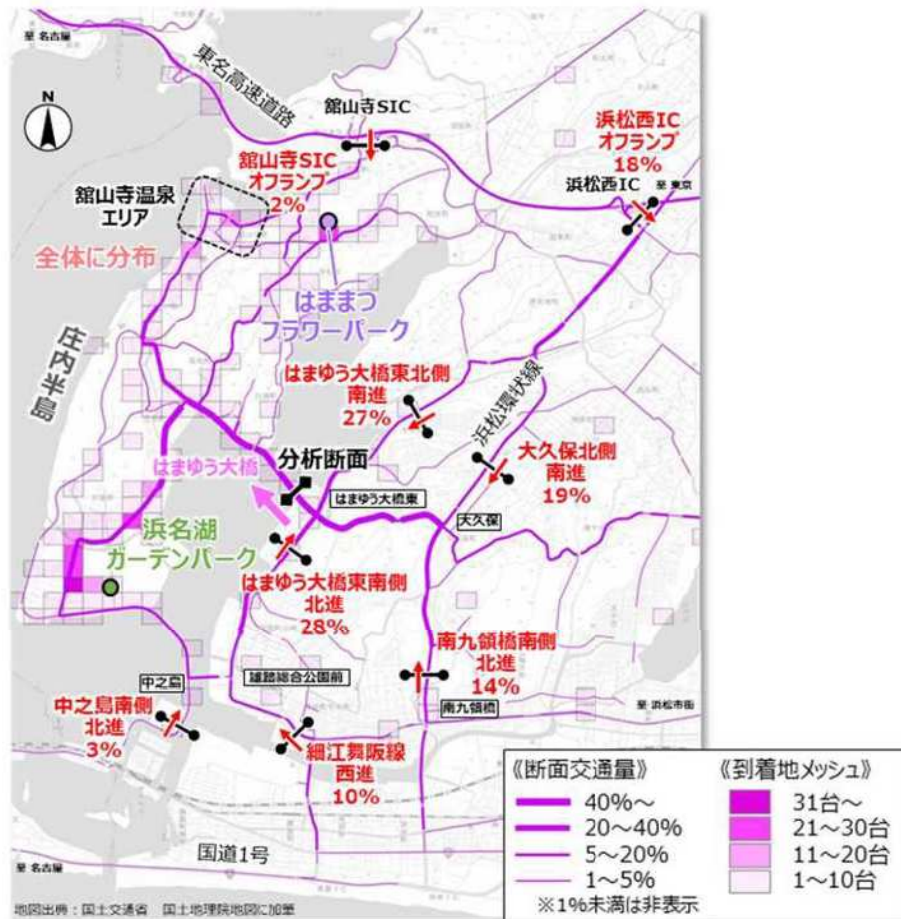
- 渋滞協の取り組みを通じて、課題箇所の分析や対策実施後の効果検証において、ETC2.0を有効活用

■ 課題

- 国交省に負担がかかるため、**ポイントを絞った分析依頼**
- 分析の目的やアウトプットイメージなどの共通認識をいかに高めるかが課題（手戻り防止）

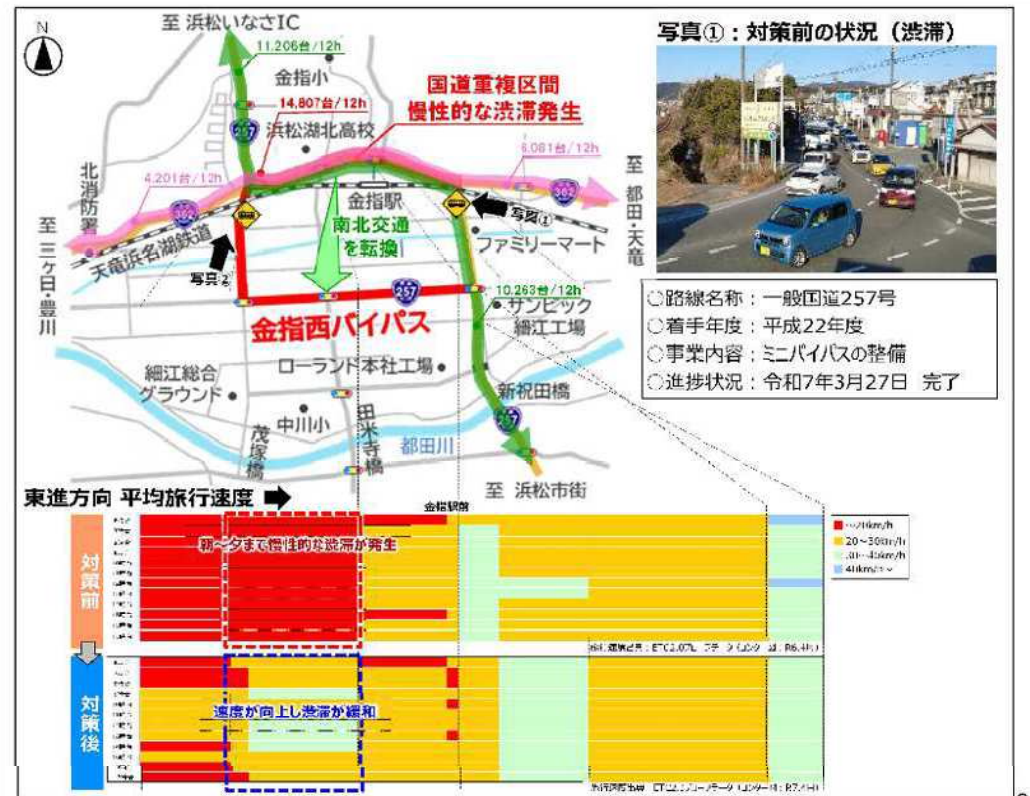
事例の拡大図

<申請書：プローブ利活用実績②>



はまゆう大橋（分析断面）を通過した車の到着地をメッシュで表現するとともに、通過して経路の割合を太さで表現することで、はまゆう大橋の使われ方を分析

<申請書：プローブ利活用実績①>



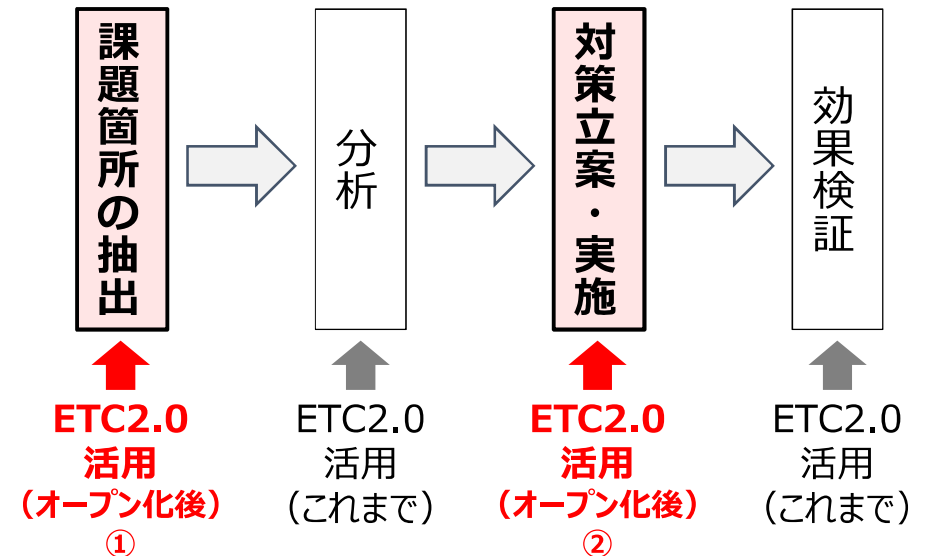
バイパス開通前後における現道の平均旅行速度を算出して比較することで整備効果を表現

① 渋滞対策

【浜松市の交通状況（渋滞）】



【オープン化による効果（活用）】



①課題箇所の抽出

- 市内全域を対象に、「旅行速度（所要時間）」,「使われ方（経路）」,「交通集中箇所」等から課題箇所（負荷が大きい路線や交差点）を抽出

②対策立案・実施

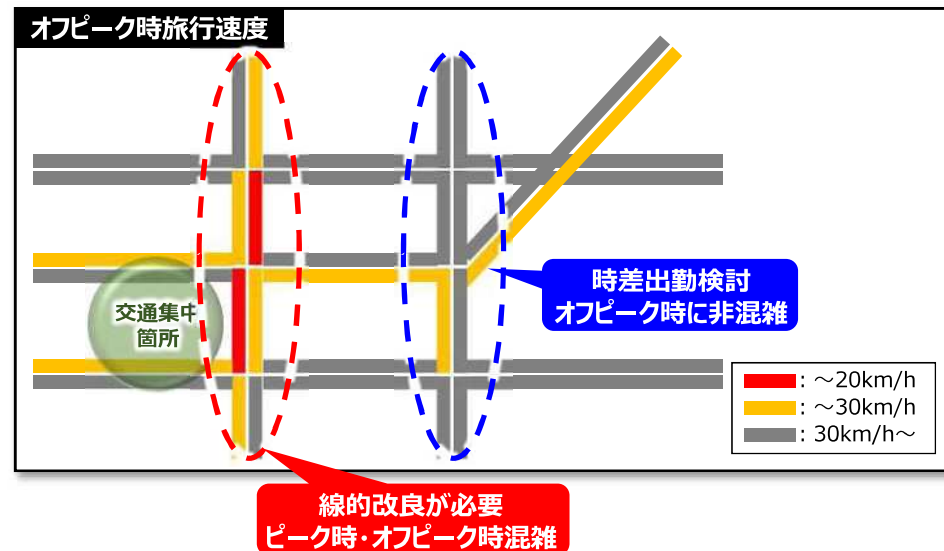
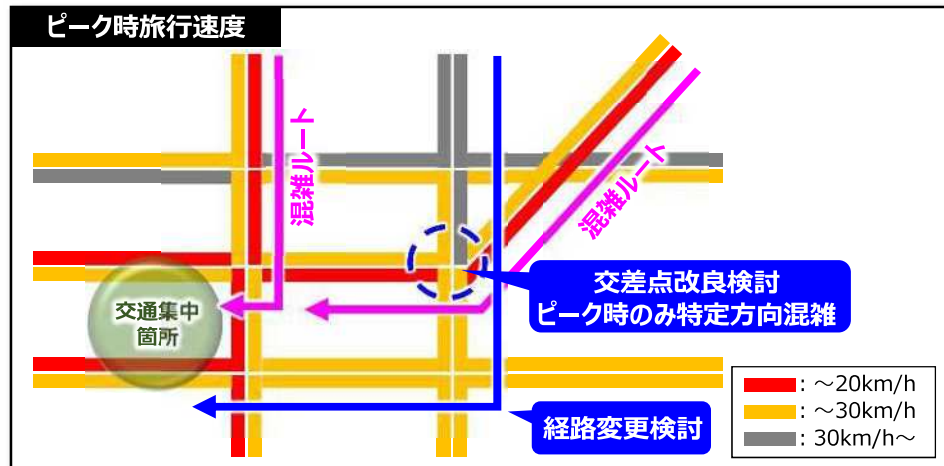
- 長期対策（バイパス整備や道路拡幅）以外に 交差点改良（短期対策）や 経路分散・時差出勤（ソフト対策）等を検討・実施

■課題

- 浜松駅を中心とする放射道路に交通が集中し、慢性的に渋滞が発生
- 線的なハード整備（バイパスや道路拡幅）は時間を要するため、短期間で効果的な対策が必要

① 渋滞対策

【活用（案）】



①課題箇所の抽出

ピーク時：混雑
オフピーク時：混雑

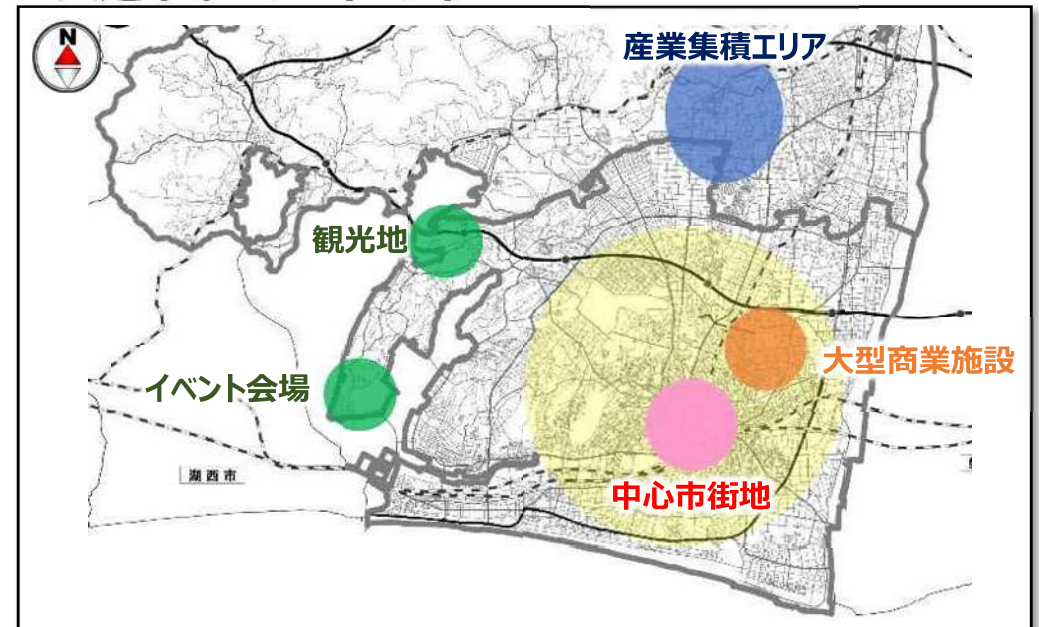
②対策検討・実施

線的ハード整備
(バイパス、道路拡幅)

ピーク時：混雑
オフピーク時：非混雑

交差点改良
経路変更、時差出勤

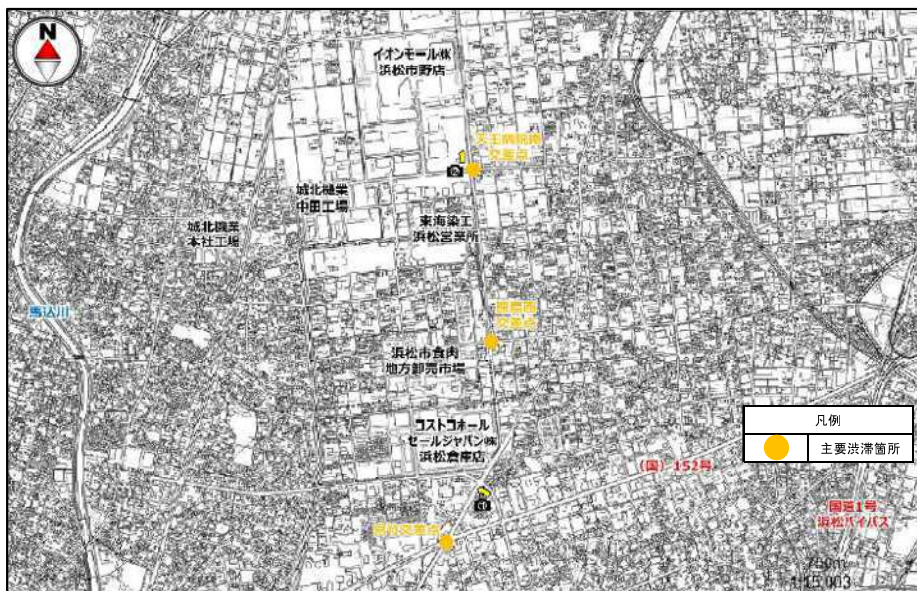
<交通集中箇所（想定）>



① 渋滞対策

【活用（案）】

- 紡績等の工場用地として土地利用されていた浜松市の広域集客ゾーン（宮竹・天王・市野地区）において、イオンモール(株)浜松市野店やコストコホールセールジャパン(株)浜松倉庫店等、大規模な集客施設が立て続けに立地し、休日・平日とも市内外の多くの人が利用
- その結果、周辺道路は日常的に混雑が発生し、住民の交通に重大な支障
- 本ゾーンを含む周辺エリアのプローブデータの活用により、ソフト・ハードの効果的な取組を検討し、周辺企業と連携した取り組みを推進するもの



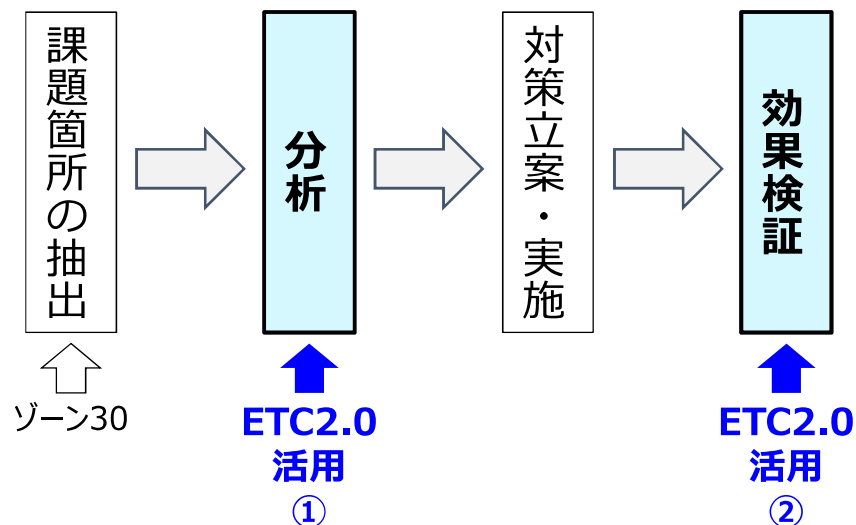
活用のフロー

広域集客ゾーンにおいて朝夕の時間帯を中心に渋滞が発生しているため、国土交通省のプローブデータを活用して渋滞交差点及び周辺エリアの現状確認（方向別の旅行速度、混雑時間帯など）

- ・ 周辺企業へ出入口箇所の提案
- ・ 迂回ルートへの検討
- ・ 市民への情報提供の方法検討
※比較的空いている幹線道路への利用を促す方法（行動変容へのアプローチ）

② 交通安全対策

【これまで】



■ ETC2.0のこれまでの活用方法

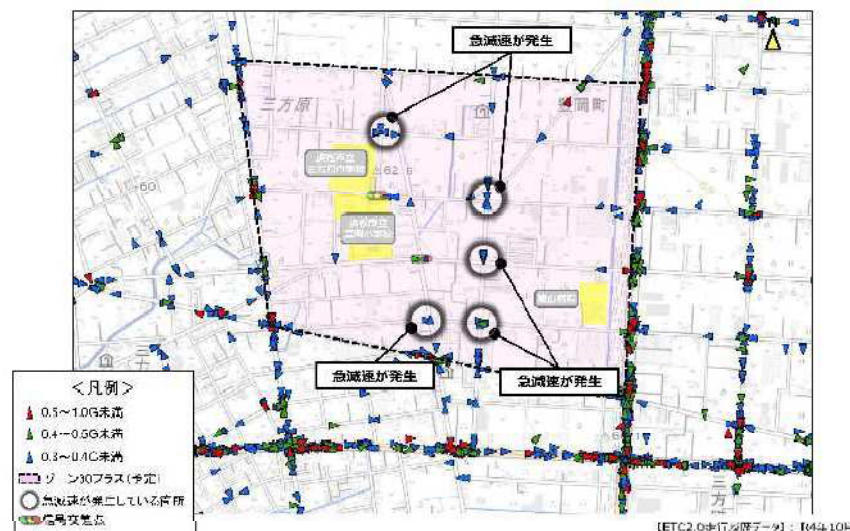
- ゾーン30プラスに向けた、**既存のゾーン30における現状分析及び対策実施後の効果検証**において、ETC2.0を有効活用

■ 課題

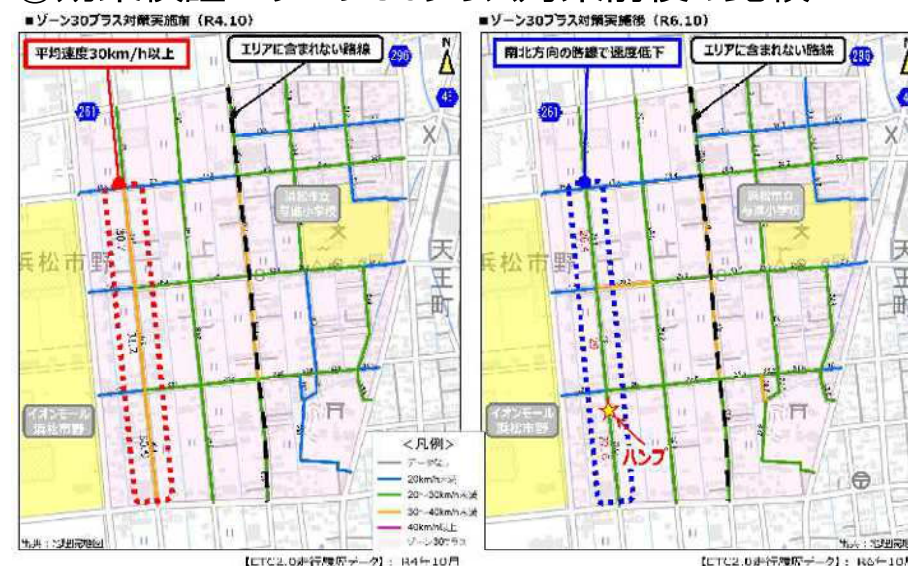
- 既存ゾーン30内を対象としており、**ポイントを絞った分析依頼**

【事例】

① 分析：ゾーン30内の分析（急減速）

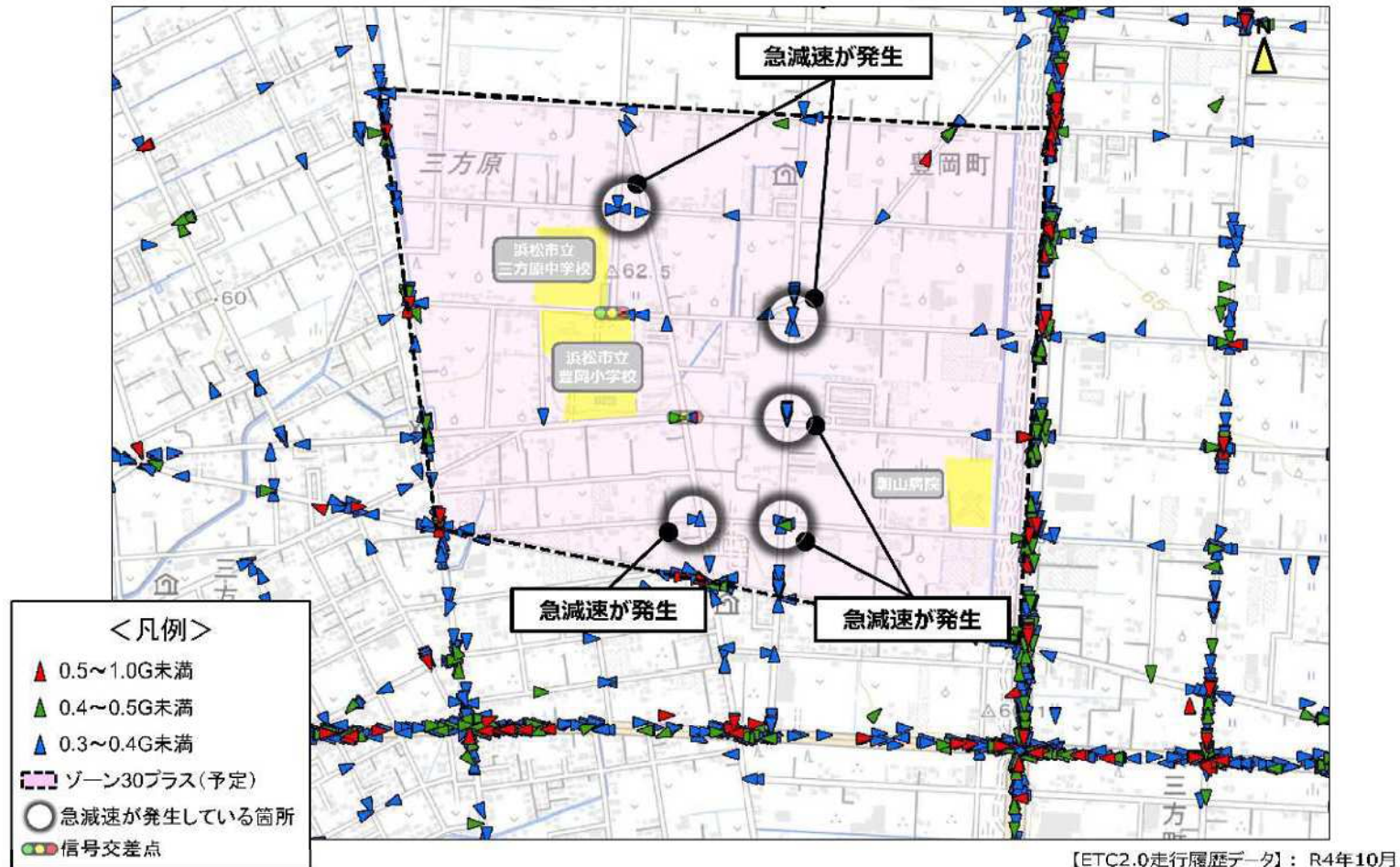


② 効果検証：ゾーン30プラス対策前後の比較



事例の拡大図

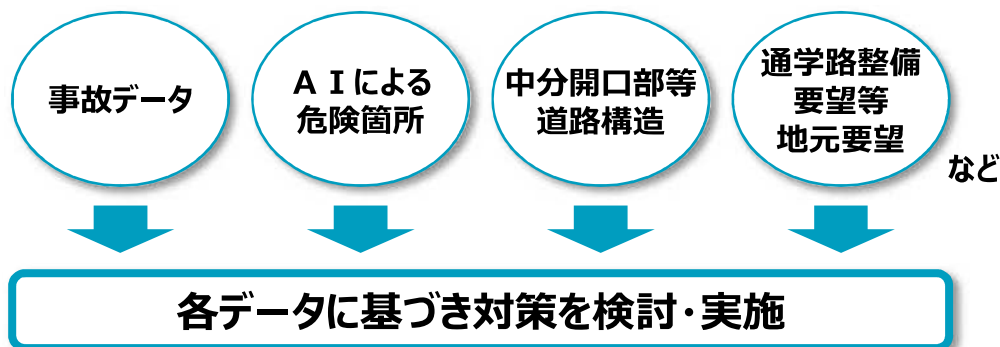
<申請書：プローブ利活用実績③>



エリア内の急減速箇所を把握し、ゾーン30プラスの対策検討において活用

② 交通安全対策

【これまでの交通安全対策の検討】



【浜松市における交通事故の状況】

■ 人口10万人当たりの人身交通事故件数の推移



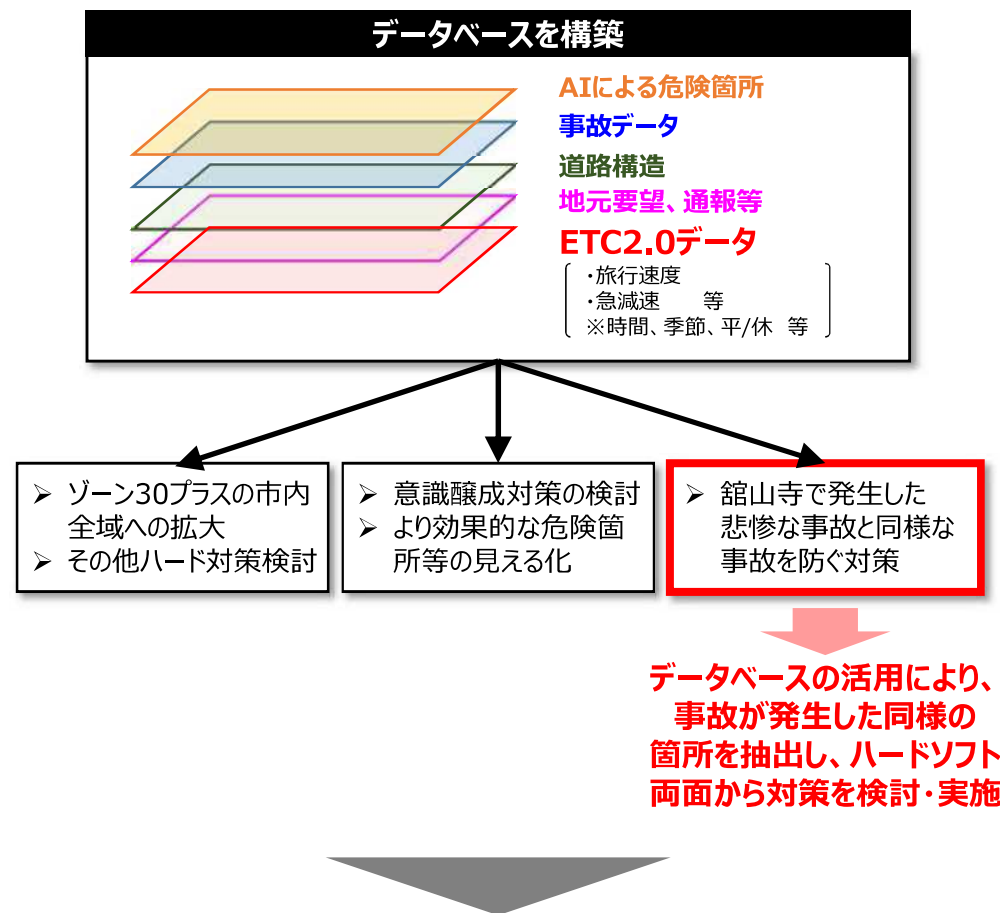
■ 近年の人身交通事故（死亡）

令和6年5月（新原）
信号がない横断歩道を横断中の小学生が自動車にはねられ死亡

令和7年3月（舘山寺）
軽トラックが走行中の自転車の列に追突し、小学生が死亡

- 着実に人身交通事故件数は減少しているが、依然として**ワースト1**が継続かつ**小学生が亡くなる悲惨な事故が発生**

【オープン化による効果（活用）】



既存データに加え、ETC2.0から取得できる様々なデータを連携させたデータベースの構築及び有効活用により、交通弱者（歩行者や自転車）を守る